

特 徴

- ◎4K 対応 ◎バックカメラ付き(1080P) ◎全面 LCD でバックミラー兼用型 ◎タッチパネル操作

目次

安全上のご注意.....	2
各部の名称.....	2
準備.....	3
1. ドライブレコーダー本体を充電する.....	3
2. microSD カード(別売)の準備.....	3
3. 電源を入れて試し撮りをする.....	3
ドライブレコーダーの取り付け.....	3
1. 本体(フロントカメラ)を取り付ける.....	3
2. バックカメラを取り付ける.....	3
3. 配線を接続する.....	4
4. 電源の接続.....	4
5. カメラの撮影方向を調節する.....	4
6. 設定.....	4
電源操作.....	4
操作方法.....	5
設定を変更する.....	5
ドライブレコーダーで再生/ファイルロック/削除.....	6
パソコンで再生.....	6
よくあるご質問.....	6
仕様 ※仕様は予告なく変更される場合があります。.....	6
サポート.....	7

安全上のご注意

ご使用前に、「安全上のご注意」を必ずお読みの上、正しくご使用ください。

●表示の説明

△ 警告	取扱を誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
△ 注意	取扱を誤った場合、人が損害を負う、または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

●絵記号の説明

⊘	禁止の行為を示します。	❗	実行しなくてはならない内容を示します。
---	-------------	---	---------------------

警告

- ❗ 異常現象(煙、異音、異臭など)が発生した場合は、すぐに電源を抜いて製品サポート又は販売元までご連絡ください。
- ❗ 本機の取り付け及び配線コードがエアバックの動作妨げにならないようにしてください。エアバックが動作した際、ケガをする恐れがあります。
- ⊘ お客様による修理は火災や感電、故障の原因となりますので、絶対におやめください。
- ⊘ 異物、油滴、液体を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。
- ⊘ サンシェードをご使用の場合は、本機をフロントガラスとサンシェードの間に挟み込まないでください。高温になり故障や火災の原因となる恐れがあります。
- ⊘ 運転中は走行中に操作や画面を注視しないでください。

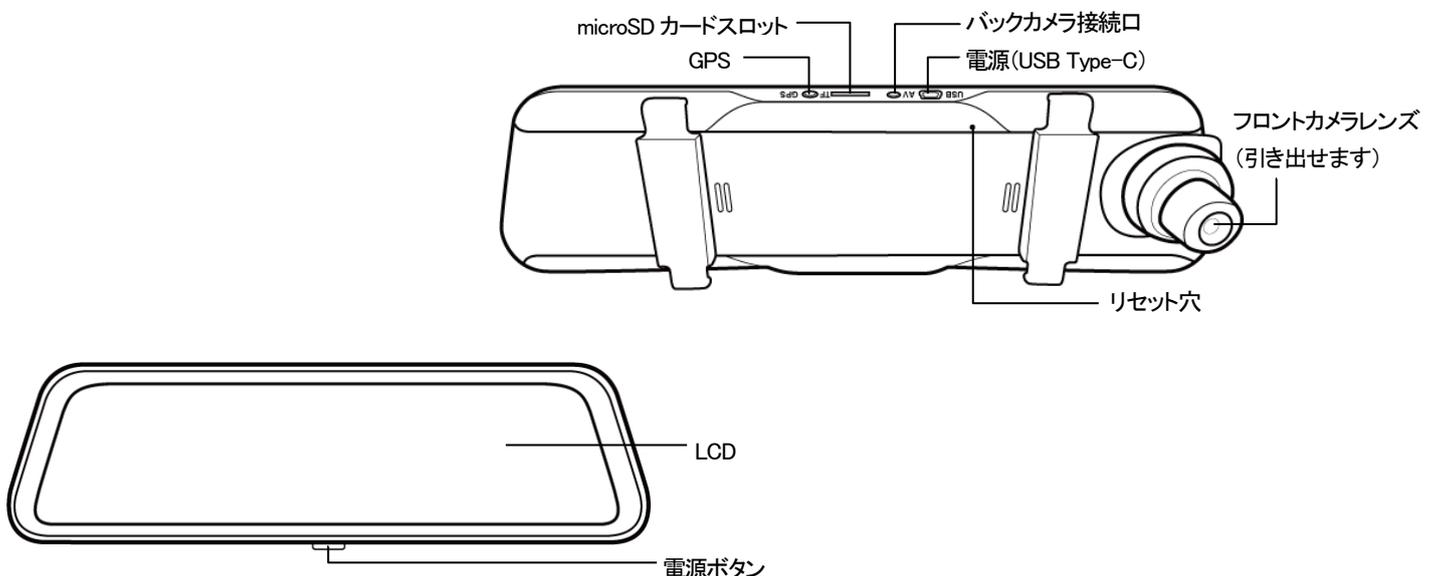
注意

- ❗ 電源コネクタや端子の汚れは綺麗にふき取って接続してください。また、端子は確実に差し込んでください。不十分な接続は動作不良、感電、火災の原因となることがあります。
- ⊘ 機器を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
- ⊘ 不安定な場所に設置しないでください。落下してけがや故障の原因となることがあります。
- ⊘ 濡れた手で操作をしないでください。感電の恐れがあります。
- ❗ 事前に試し撮りをして画像を確認してください。
- ❗ 次のような場所では使用及び保管しないでください。火災、故障の原因となります。(油煙や湯気が直接当たる場所。熱器具、加湿器の近く。可燃性ガスのある環境。炎天下、高温な環境。)
- ・ 撮影データに関しては一切の責任を負いかねます。他者の著作権、肖像権等を侵害しない範囲でご使用ください。
- ・ 急激な明るさの変化は録画品質が一時的に落ちます。
- ・ 他の電子機器と電波干渉する場合は、設置場所を変えてみてください。
- ・ 機器の動作が異常な場合は、リセット操作を行ってください。
- ・ この機器の保証は国内に限り有効です。
- ・ 本機器は防塵、防水仕様ではありません。

<破棄について>

本製品を破棄する場合は各地方公共団体で指定された方法で破棄してください。

各部の名称



準備

1. ドライブレコーダー本体を充電する

初めて使用するとき、充電が足りないと動作不良を起こす場合があります。

付属のカーシガー電源アダプターをシガーソケットに差し込み、USB Type-C プラグを本体の電源ジャックに接続します。本体の電源をオフにして約 1 時間程度充電してください。

2. microSD カード(別売)の準備

対応 microSD カード

記録メモリ	容量	スピードクラス
microSDHC microSDXC	128GB まで	V10 以上

重要

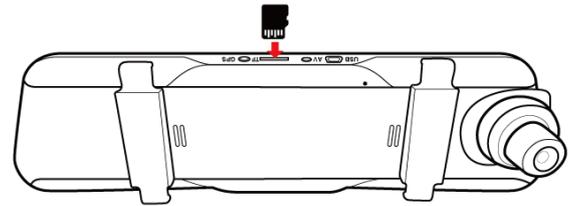
microSD カードには、本機で記録したデータ以外入れないでください。
microSD カードは消耗品です。
3ヶ月に一回程度の初期化(フォーマット)、年に1回以上の交換を推奨します。

1) microSD カードの挿入/取り出し

必ず本体の電源がオフの状態で行ってください。

microSD カード挿入口に、「カチッ」と音がするまで押し込みます。

※microSD カードの金属端子面がレンズ側を向くように挿入します。



取り出すときは、カードを押し込み、飛び出したカードを引き抜いてください。

2) microSD カードの初期化(フォーマット)

① シガーソケットにカーシガー電源アダプターをさし、本体の電源ジャックに接続して電源を入れます。

※電源オンと同時に録画が開始された場合は、[録画]をタップして録画を停止してください。

② 録画停止の状態ですべて[ホーム]をタップし、[システム設定]を開きます。

③ [ディスクのフォーマット]を選択し、フォーマットを実行してください。

※フォーマットすると、保護されたファイルもすべて削除されます。

3. 電源を入れて試し撮りをする

ドライブレコーダーを設置する前に、録画が正常に行われるか試し撮りを行ってください。

有効な microSD カードが挿入されていると、電源 ON と同時に自動で録画が開始されます。

ドライブレコーダーの取り付け

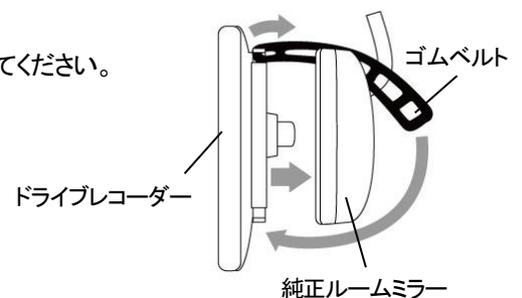
※最初にバックカメラを機器に接続して正常かどうか(表示、録画、操作方法)を確認ください。

※レンズ、LCD表面には保護シートが貼ってあるので、剥がしてご使用ください。

1. 本体(フロントカメラ)を取り付ける

付属のゴムベルトで純正ルームミラーに巻きつけて固定してください。

純正ルームミラーのサイズに合わせて、ゴムベルトの引っ掛ける位置、レンズ位置を調節してください。



2. バックカメラを取り付ける

付属のビス又は両面テープで車体または室内後方に取り付けてください。

撮影の向きを確認してカメラを設置ください。映らない場合は設定を確認ください。

〈両面テープで設置〉

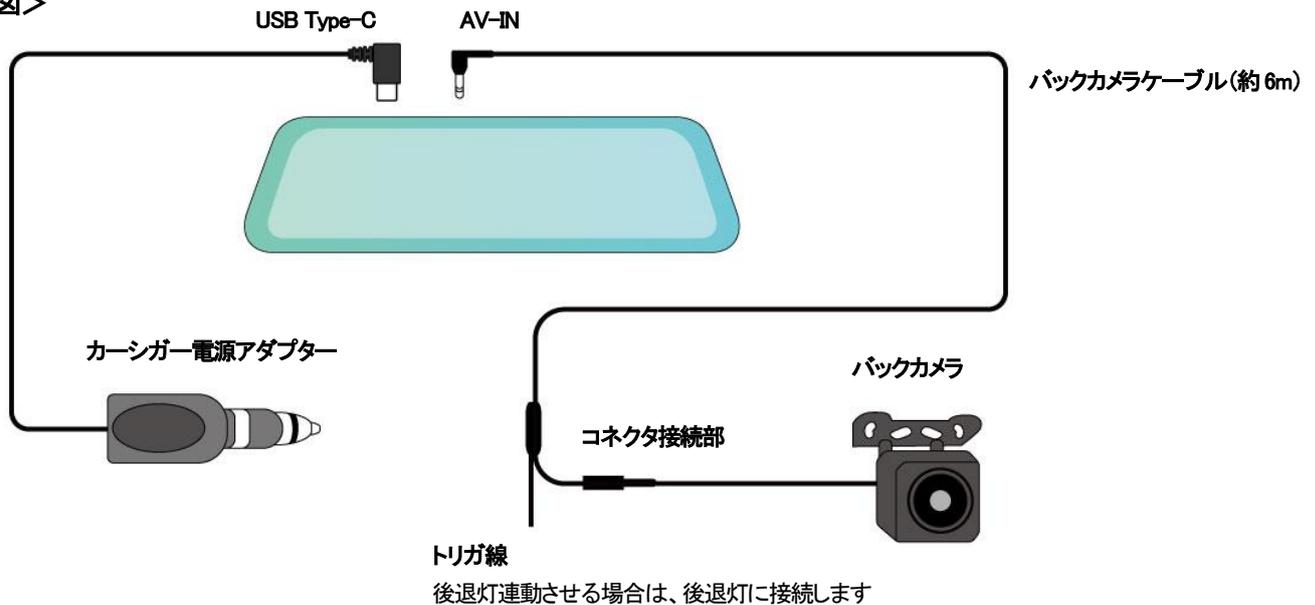
〈ビスで設置〉



3. 配線を接続する

- ・配線接続図を参照して車に取り付けてください。
- ・バックカメラはバックカメラケーブルのコネクタ(4ピン端子)に差し込んでください。
(配線経路は車種により異なりますので、ご不明の場合はカーディーラー等へお問い合わせください。)

<配線接続図>



後退灯(バックギア)に連動して、バックカメラの映像を表示させる場合

バックカメラケーブルのトリガ線を後退灯信号に接続することで、後退時に自動でバックカメラの映像に切り替わります。
※表示される角度が下向きになり、ガイドラインが表示されます。

4. 電源の接続

付属のカーシガー電源アダプターを車のシガーソケットにさし、使用中は常時電源を供給してください。

(※1) 常用的に車を使用されている場合は充電不足にはなりません。

(※2) 車種によってカーシガーから電源を常時供給している場合は、降車時に電源ケーブルを抜いてください。

また、カーシガーがない場合は、バッテリー直結ケーブル(別売)をご使用ください。

5. カメラの撮影方向を調節する

設置したカメラの撮影方向を LCD モニターで確認しながら調節してください。

6. 設定

必要な設定項目の確認を行ってください。

※撮影時刻がわかるようにするために、ご使用前に日時設定を行ってください。

電源操作

電源接続による自動電源 ON/OFF

電源の ON/OFF に連動して本体の電源も自動で ON/OFF します。

エンジン連動機能

カーシガー電源アダプターに接続することで、エンジンの ON/OFF 連動して電源の ON/OFF ができます。

本体の電源ボタンによるオン/オフ

本体の電源ボタンを長押しすると、本体の電源を ON/OFF できます。

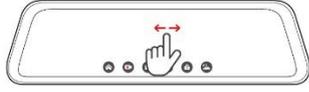
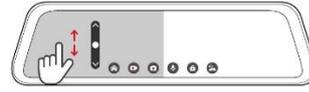
操作方法

電源ボタンを短押しすると、スクリーン表示の ON/OFF ができます。オフ時はバックミラーとなります。

電源ボタンを長押しすると、電源の ON/OFF ができます。(録画中に電源 OFF にすると、録画中のファイルを保存後に電源が切れます。)

<画面操作>

- ミラー面が画面となりタッチパネル操作で動作します。
- スクリーン OFF で画面タップをするとスクリーン ON になり、さらにタップするとメニューを表示します。
- 再生および設定中は録画が停止します。

表示カメラの切り替え (バックカメラ接続時)	画面を横にスワイプ	
画面の明るさ調節	画面の左側エリアを縦にスワイプ	
カメラの上下表示エリアを調節 (※分割画面では操作できません)	画面の右側エリアを縦にスワイプ	



設定を変更する

[ホーム] をタップすると、各種メニューが表示されます。(表示中は録画がストップします。)

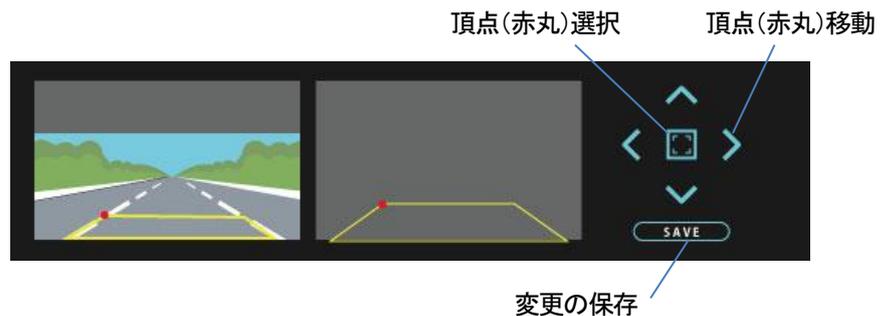
スマート運転

運転支援システム	アラーム感度
	アラーム音
	車線と枠表示
死角監視システム	アラーム感度
	車速しきい値
	アラーム音
	アラームエリア表示
車線変更支援	アラーム感度
	車速しきい値
	アラーム音
	アラームエリア表示

<警告エリアの調整方法>

[じどうほせい] をオフにし、[校正] からエリアの調整ができます。

- 1) □ マークで調整する頂点を選択します。
- 2) < マークで位置を変更します。
- 3) 保存して終了します。



運転設定

項目	設定値	説明
ビデオ解像度	1080P／2.5K／4K	フロントカメラの録画・静止画の解像度を設定します。
ループ録画	1分／3分／5分	録画ファイルを設定した長さで分割します。
光源周波数	50Hz／60Hz	東日本は 50Hz、西日本は 60Hz を選択してください。
G センサー感度	閉じる(オフ)／低い／中／高い	衝撃を検知すると録画中のファイルが書き込まれないようにロックします。
駐車監視	閉じる(オフ)／低い／中／高い	エンジン停止時に衝撃を検知すると自動で録画します。
録音	オフ／オン	オンで動画と同時に音声も録音します。
ビデオ透かし	オフ／オン	録画データにタイムスタンプを表示するかを設定します。
HDR	オフ／オン	明暗が強い場合に自動で画像補正を行います。
つや消し夜視	オフ／オン	ナイトビジョンの設定をします。
背面カメラ方向	閉じる(オフ)／反転 180°／ミラーリング／反転 180°+ミラーリング	バックカメラの反転表示を設定します。

システム設定

項目	設定値	説明
音量設定	音量を設定します。	録画の解像度を設定します。
ボタン音	オフ／オン	操作ボタン音を設定します。
スクリーンスリープ	閉じる(オフ)／1分／2分	自動でスクリーンオフする時間を設定します。
言語設定	使用言語を設定します。	
時間設定	日時を設定します。	
ディスクのフォーマット	microSD カードをフォーマットします。	
バージョン情報	ファームウェアのバージョンを表示します。	
工場出荷時リセット	工場出荷状態に戻します。	

ドライブレコーダーで再生／ファイルロック／削除

[ホーム] ⇒ [文書管理]をタップします。(表示中は録画がストップします。)

録画データの再生、ファイルロック、削除ができます。

パソコンで再生

本機の電源を OFF にし、microSDカードを取り出します。

記録されているファイルをPCで動画プレーヤを使用して再生ください。

ファイルはカメラ、録画別別に異なるフォルダへ保存されます。

よくあるご質問

- ・録画出来ない。画面表示しない。・・充電操作、リセットを行ってください。
- ・録画ができなくなった ・・ ファイルロックされたファイルを削除ください。microSD カードをフォーマットしてください。

仕様 ※仕様は予告なく変更される場合があります。

LCD	9.7 インチ	バッテリー	500mAh/3.7V
解像度	【フロントカメラ】最大 4K 【バックカメラ】最大 1080P	電源	DC12～24V(カーシガーより供給)
撮影画角(対角)	【フロントカメラ】約 130° 【バックカメラ】約 110°	材質	本体・ABS、レンズ・強化ガラス
メモリーカード	microSD カード(最大 128GB、V30 以上推奨)	後退カメラ	後退灯に接続することで、後退カメラ表示
本体サイズ	【フロントカメラ】約 260×73×40mm 【バックカメラ】約 22×22×32mm(ケーブル・スタンド除く)	質量	【フロントカメラ】約 310g 【バックカメラ】約 30g(スタンドケーブル含む)

【同梱品】 本体、バックカメラ、バックカメラケーブル、取付バンドx2 本、カーシガー電源ケーブル ※microSD カードは付属していません。

お問い合わせはこちら



お客様サポートサイト

<https://www.broadwatch.jp/support/>

製品保証書

型番： CARTM-4K1080P-A

保証期間：お買い上げ日より1年間

お買い上げ日

保証期間内に正常な使用で故障が発生した場合、保証規定に基づき、製品の保証を行います。

販売店名

※保証規定はブロードウォッチのホームページをご確認ください。ご購入日が記載された書類（レシート、領収書、納品書、保証書、メール等）のいずれかを必ず保管してください。製品保証を受ける際に必要になります。

※お買い上げ時のレシートも一緒に保管してください。



株式会社ブロードウォッチ

堺センター 〒590-0961 大阪府堺市堺区寺地町3丁1-7

<https://www.broadwatch.jp/>

050-3786-0010

MADE IN CHINA

2024.12